

探究的な学習の在り方に関する
研究推進事業

坂中学校区
(坂中、坂小、横浜小、小屋浦小)

研究主題

主体的に学ぶ児童生徒の育成

～生活科・総合的な学習の時間におけるICTを効果的に活用した授業づくりを通して～



1年目の取組

坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿

	小 学 校			中 学 校
	低 学 年	中 学 年	高 学 年	
チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題や自分で決めたことに対して、最後までやってみようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や自分で決めた目標に対して、粘り強くやり通そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見付け、取り組もうとしている。 粘り強くやり切ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に対してだけではなく、自分なりに目標をもち、果敢に挑戦しようとしている。 決めたことは、困難に負けず、やり切っている。 自ら課題を見付けたり、調べたり、工夫してまとめたりしている。
表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、目的や相手に応じて、根拠を明確にして伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、目的や相手、場面に応じて、工夫しながら伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身のことや自分の考えなどを理解してもらえるように、目的や相手、場面に応じて、内容や方法、表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【感謝】 【行動力】	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭の中での役割に気付き、行動しようとしている。 「ありがとう」が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割に気付き、皆と協力して行動している。 進んで感謝の気持ちを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割を考え、皆と協力して行動している。 感謝の気持ちを相手に伝わるように表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割を自覚し、皆と協力して行動している。 地域の発展のためには、どのようなことをすればよいかを考え、行動している。

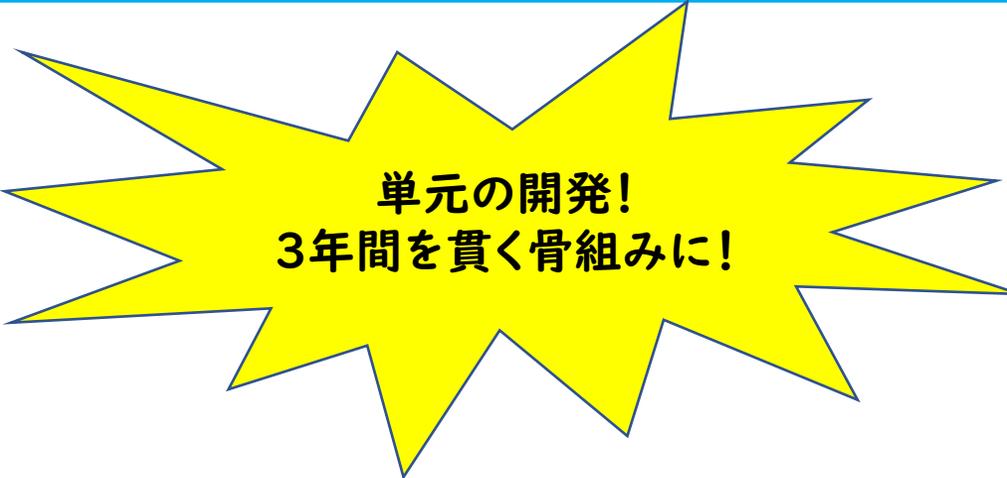
【1年目】第3学年 総合的な学習の時間

【単元名】

お互いの命をまもり合おう

【単元の目標】

自分たちが生活している坂地域のよいところや課題を見付け、その課題の解決に向け地域の方と連携しながら活動することを通して、地域の一員としての自覚や誇りを持ち、自らの生き方について考え、行動しようとする



単元の開発!
3年間を貫く骨組みに!

【1年目】第3学年 総合的な学習の時間

〈単元の流れ〉

- 地域を見つめ直し、地域の課題を発見・解決する。
- 防災についての知識を学習する。
- 自衛隊の活動を通して、防災に対する知識を深める。
- 「豪雨災害追悼集会」を企画・運営する。
- 防災新聞をつくる。
- これまで学習してきたことや、それを踏まえて今後地域のために自分たちができることをゲストティーチャーに発表する。



1年目の取組

〈成果と課題〉

- 中学校区として育てたい資質・能力を**具体の姿**で整理できた。
 - ▲ **具体的な評価と改善**
- ICTの積極的な活用 → **日常的なツール**になった。
 - ▲ **学習意欲の向上、ポートフォリオ、交流するツールなど活用の充実**
- 地域とのつながりの促進
 - **ゲストティーチャーの活用**は重要なポイント!

2年目の取組

1年目の成果と課題



- ICTを効果的に活用する。
- 学習過程を探究的にし、他者と協働して主体的に取り組む学習活動にする。

2年目の取組

3年総合的な学習の時間
「お互いの命をまもり合おう」

探究活動Ⅰ

防災についての理解
を深める

探究活動Ⅱ

追悼集会の企画・運
営を通して、防災意
識を高める

探究活動Ⅲ

グループでテーマを決
め、これまでの学びを
外部に発信し、地域
に貢献する

ゴールイメージ

中学生の私たちが
ふるさと坂のため
にできることは
何か考え、行動す
ることができる

2年目の取組

ICTの効果的な活用



災害についての調べ学習



PPを用いた発表



3班 表現する力	アニメーションがたくさん使った三班	様々なスライドのアニメーションを使っていて、分かりやすかったです。古川	スライドがわかりやすいかと褒めていた。渡部	スライド面白かった 横田	アニメーションがたくさん使った三班	声が小さかったりシャベルの早すぎる人がいて聞き取りにくかった川崎
A NICE 伊藤	A スライドが見やすかった 上田	強調したいところに色を付けていて見やすかった 大岡	アニメーションがたくさん使っていて見やすかった 清水	Aスライドがよかった 岸田	B すこし話すスピードが速かった 村上	A 少し聞き取りにくかったところがあった 小松
A スライドが良かった 宮下	スライドが良かった 新見	スライド面白かった 河下	A スライドの使い方が上手だった。加藤		長い文に赤い文字などを入れて読みやすくなったと思う。渡部	
スライドが良かった 声見	A 避難場所にもいろいろあってその説明を一つ一つしてくれて分かりやすかったです。渡部	A スライドがたくさんあってよかった。賀屋	A スライドがよかった 森橋		聞き取りやすかった 渡部 瑠空	
アニメーションがたくさん使われていて良かった	スライドが良かった 竹園	A スライドが良かった。古谷	アニメーションの表現が多くてよかった 松本		b スライドの表現が良かったと思う。賀屋	

ジャムボードを用いた相互評価



復旧・復興に関する動画を公開していますロ

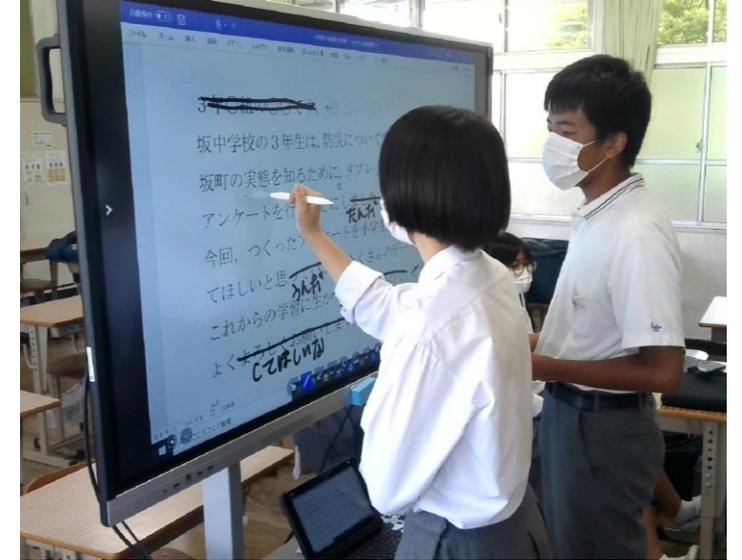
当時の様子を動画で視聴



Meetで全クラスをつなぐ

2年目の取組

ICTの効果的な活用



追悼集会で1・2年生へ伝えたい「防災に向けたメッセージ」を、ICTを使って作成



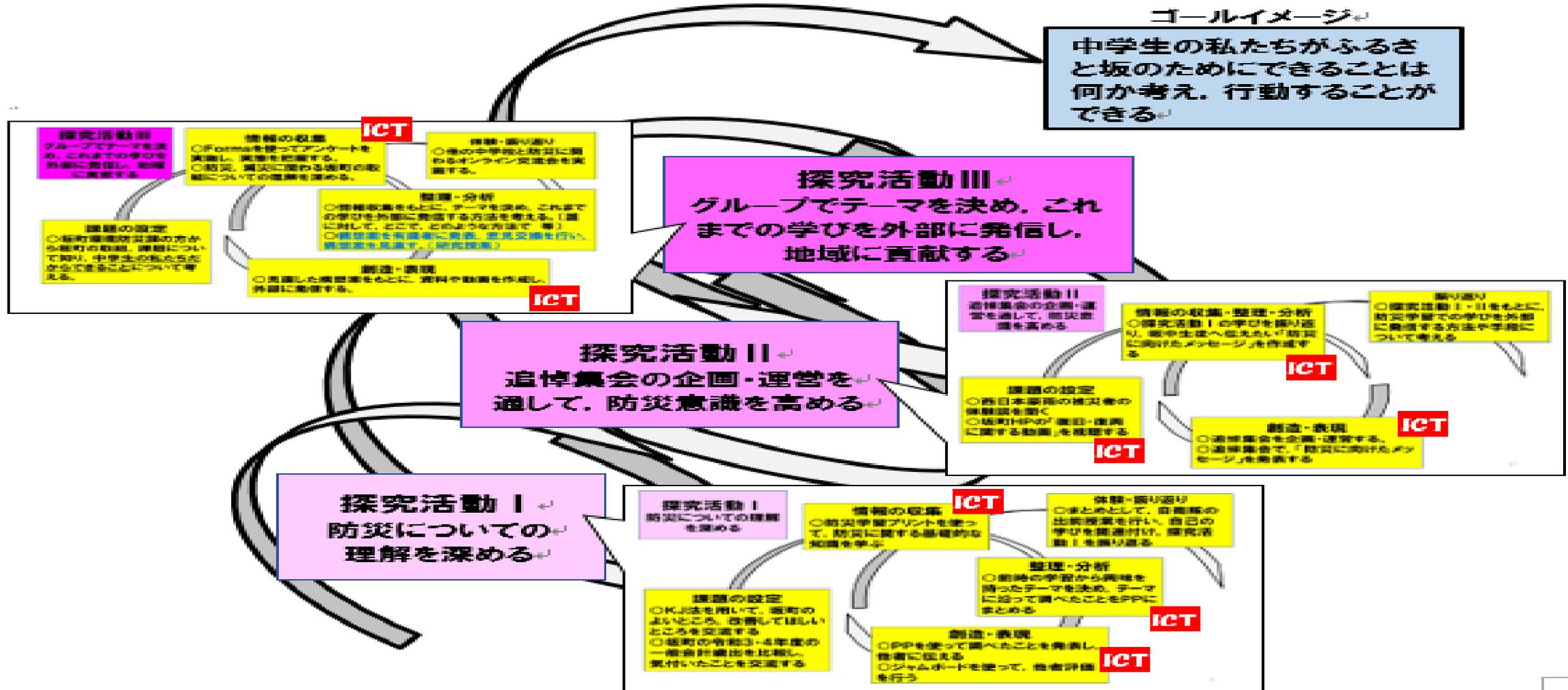
- ・防災意識を高める紙芝居をつくり、それを実演している様子を撮影・編集し動画にまとめる。
- ・「防災に向けたメッセージ」を動画で撮影する。企画・撮影・編集などすべて生徒が行った。



Formsを使って小学生にアンケートを作成

2年目の取組

ICTの効果的な活用



2年目の取組

学習過程を探究的にし、他者と協働して主体的に取り組む学習活動にする。

課題の設定



生徒が自ら問いをもつためのしかけ

【しかけ】

○坂町のよいところ、改善してほしいところについて多様な意見を知る。

○坂町の災害復旧費が5億5000万(令和元年度)⇒3000万(令和4年度)になっていることを坂町の会計歳出から知る。



- ・こんなに災害復旧費が減っているとは思わなかった。
- ・予算が少なくなっている中で、どんな防災対策ができるだろうか。
- ・中学生としてふるさと坂のためにできることはないだろうか。

対象やテーマに対しての認識の「ズレ」や「隔たり」

2年目の取組

学習過程を探究的にし、他者と協働して主体的に取り組む学習活動にする。

外部人材（外部機関）の活用



探究的な学びを深めていく手立て



自衛隊の出前授業



坂町生活支援コーディネーター・社会福祉士による講演



坂町役場の方から坂町の取組・課題を聞く。



構想案を発表し、アドバイスをもとに改善案を考える。

2年目の取組

〈成果と課題〉

- 小学校と中学校が連携して、PBLの考え方を参考に「本物の探究」に向けた**単元の開発**
- ICTの**効果的な活用** → 活用したソフト・機能が増えた。
- ▲ ルーブリックとそれに基づいた**評価の在り方**
→ 評価にばらつきがあるため、**精緻で具体的なルーブリック**が必要である。

3年目の取組

1・2年目の成果と課題



- 今まで行ってきた活動をさらに改善する。
- 外部への発信に向けて具体的な活動を行う。

3年目の取組

3年総合的な学習の時間
「お互いの命をまもり合おう」

ゴールイメージ

探究活動Ⅰ
追悼集会の企画・運営を通して、防災意識を高める

探究活動Ⅱ
グループでテーマを決め、これまでの学びを外部に発信し、地域に貢献する

中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か考え、行動することができる

3年目の取組

探究活動Ⅰ

追悼集会の企画・運営を通して、防災意識を高める

①課題の設定

- ジャムボードを用いて、坂町のよいところ、改善してほしいところを交流する
- 坂町の令和5年度の一般会計歳出の割り振りを予想させ、気付いたことを交流する

②情報の収集

- 防災学習プリントを使って、防災に関する基礎的な知識を学ぶ。

③整理・分析

- 「ひろしまマイ・タイムライン」を作成・改善する。
- 自衛隊の出前授業を行い、発表に活かす。

④創造・表現

- 1・2年生に向けて「ひろしまマイ・タイムライン」の発表を行う。
- 相互評価を行う。

⑤体験・振り返り

- 追悼集会を行う。
- 探究活動Ⅰを振り返り、防災学習での学びを外部に発信する方法や手段について考える。

3年目の取組

探究活動II

グループでテーマを決め、これまでの学びを外部に発信し、地域に貢献する

課題の設定

○坂町環境防災課の方から坂町の取組、課題について知り、中学生の私たちだからできることについて考える。

情報の収集

○アンケートのデータをもとに、実態を把握する。
○防災、減災に関わる坂町の取組についての理解を深める。

体験・振り返り

○外部との連携をとり、発信する。
○探究活動IIを振り返り、坂のために自分たちにできることをまとめる。

整理・分析

○情報収集をもとに、テーマを決め、これまでの学びを外部に発信する方法を考える。(誰に対して、どこで、どのような方法で 等)
○構想案を有識者に発表、意見交換を行い、構想案を見直す。(研究授業)

創造・表現

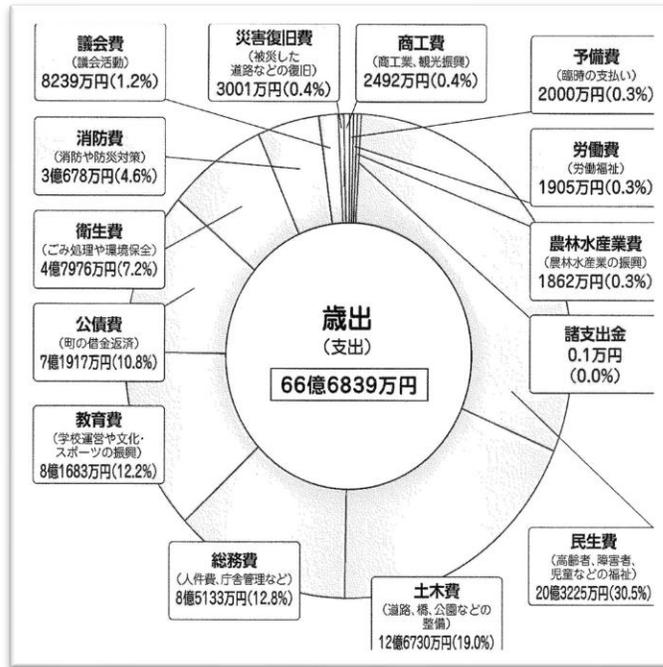
○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成する。

3年目の取組

今まで行ってきた活動をさらに改善する。

しかけの改善

比較の前に、クイズ形式で予算の割り振りを予想させる。



項目	説明	予算額
議会費	町議会議員の議会活動に関するもの	8,246万円
総務費	庁舎管理、人事、企画、財政、徴税、住民基本台帳、選挙、統計など、町の全般的な事務に関するもの	9億4,135万円
民生費	高齢者、障害者、児童、生活保護などの福祉に関するもの	① 万円
衛生費	健康づくり、ごみ処理、環境保全などに関するもの	② 万円
労働費	労働福祉に関するもの	1,905万円
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興に関するもの	2,908万円
商工費	商工業、観光振興に関するもの	3,445万円
土木費	道路、橋りょう、河川の整備、都市計画、都市公園の管理、住宅などに関するもの	13億3,191万円
消防費	消防や防災対策などに関するもの	③ 万円
教育費	小・中学校の管理運営、生涯学習などに関するもの	④ 万円
災害復旧費	災害によって被害を受けた道路などの復旧に関するもの	⑤ 万円
公債費	町債の返済に関するもの	7億8,128万円
予備費	緊急を要する場合に、予算外の支出、予算超過の支出に使うためのもの	2,000万円
合計		68億5,330万円

3年目の取組

今まで行ってきた活動をさらに改善する。

追悼集会の改善



外部人材活用のタイミングの改善



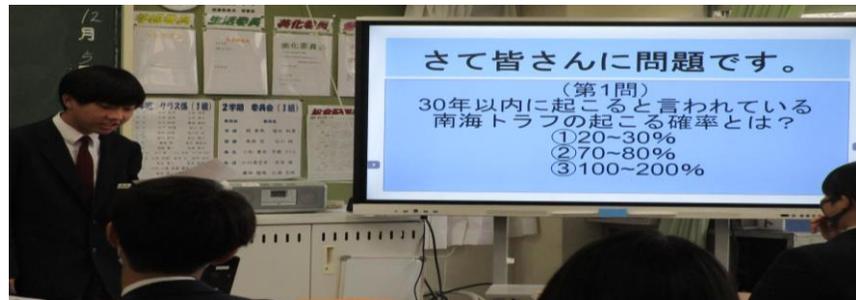
自衛隊の出前授業を
「振り返り・まとめ」から「整理・分析」へ

ひろしまマイ・タイムラインを作成し、
追悼集会で発表する。

3年目の取組

外部への発信に向けて活動を行う。

小学校とのオンライン交流会



オンライン交流会の様子
構想案の実現 → 達成感にもつながる

成果と課題

○成果

- ① 探究的な学習の授業づくりにおける三つのポイント
- ② 児童生徒の資質・能力の向上
- ③ 中学校区での連携

① 探究的な学習の授業づくりにおける三つのポイント

課題意識をもたせるしかけ

自分が想像していたこととのズレを感じさせたり、憧れをもたせたりするための工夫を行う。

ICTの効果的な活用

ICTの特徴を生かし、これまで実施が困難だった活動などを単元の中に積極的に取り入れる。

ゲストティーチャーの効果的な活用

外部人材（外部機関）を積極的・効果的に活用し、生徒にとって充実した活動となるようにする。

② 児童生徒の資質・能力の向上（量的変容）

生徒アンケート	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	単元前肯定
授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	85.7				37.2
授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	97				91.8
授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	81.6				34.5
授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思って取り組んでいます。	82.7				70.9
学習の振り返りをする時には、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」などを考えています。	88.8				60.9
授業は、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいます。	61.2	35.7	3.1	0	

② 児童生徒の資質・能力の向上（質的変容）

「ふるさと坂のために、中学生の私たちができること」について、あなたの考えを書きなさい。

坂町のために子どもができる事は少ないかもしれないと初めは思っていたましたが、今回の活動を通して、大きなことをしなくても、「知る」ということが中学生にできる大切なことだと感じました。高齢者の方は移動が大変な方もいるので、避難しない可能性があります。そんな時に力になれるのが私たち中学生を含めた子どもの力だと思います。日頃から地域の人と関わる機会が多い子供が声かけをすれば、高齢者の方も受け入れやすく周りの人と協力して避難ができると思います。私たちが防災を知ることで自分の家や周囲への呼びかけにつながると思います。地域と密接に関わる中学生だからこそ、災害について知り発信していけば、坂町の人々を守ることにつながると思いました。

② 児童生徒の資質・能力の向上（質的変容）

「ふるさと坂のために、中学生の私たちができること」について、あなたの考えを書きなさい。

防災学習を通して、人・地域とのつながりが大切だということが分かりました。防災学習で学んだことの中の一つに「自助・共助・公助」という言葉があります。その中でも「共助」という言葉に注目しました。防災士の方や役場、支援センターの方がいらっしゃった時に、「共助」についての話があり、災害時に共助をするためには、普段から地域の人と関わる大切だという話がありました。その話を聞いて、地域・人とのつながりの大切さが分かりました。人・地域との関わりを作るためには、地域行事に参加したり、地域の人にあいさつをしたりすることができると思います。地域の人々との関わりを積極的に持とうとすることが、「ふるさと坂のために、中学生の私たちができること」なのではないかと思いました。

成果と課題

○課題

- ① 中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力に基づいた生活科・総合的な学習の時間の評価の在り方
- ② 他学年・他教科への広がり

課題①

中学校区として系統的に育成を目指す資
質・能力に基づいた生活科・総合的な学習
の時間の評価の在り方

指導と評価を一体化させるための、精緻で具体的な
ルーブリックの作成の難しさ



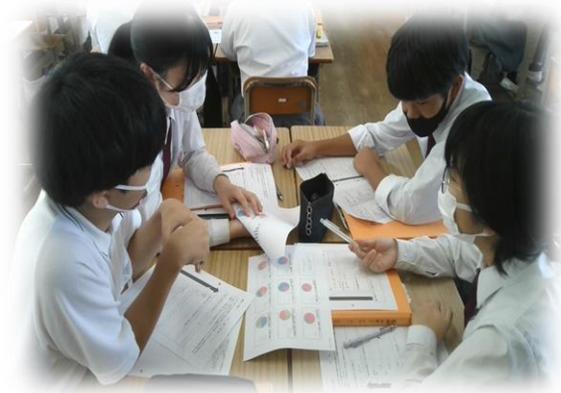
今後も研究を進めていく

課題② 他学年・他教科への広がり

中学校においては、第3学年の防災学習に重点



「探究的な学習の授業づくりにおける3つの柱」を活用して、**他学年**の総合的な学習の時間・**他教科**へと**探究的な学習を広げ**、**資質・能力の育成を目指す**。



主体的に学ぶ児童生徒の育成 を目指して…

